

頁	行	誤	正
224		「キャラクター性」のコラムが3章末と4章末に掲載されています。	正しくは以下「対話システムとプライバシー」のコラムが入ります。

## Coffee break

**対話システムとプライバシー**

対話システムと倫理は隣り合わせです。

特に, Amazon Alexa や Google Home のような家庭用 AI スピーカは, その立場上, 家で行われるすべての会話を聞けてしまうため, 便利さとプライバシーの両立ができるよう配慮しなければなりません. 今の AI スピーカは呼びかけ (“Alexa” や “OK, Google” など) をしなければ会話は始まりませんが, より便利さを追求するなら, ユーザのひとりごとを聞き取って, 勝手に対話を始めるような仕組みも考えられます. たとえば, 「あ, トイレtpペーパーがなくなりそう!」とユーザが言ったときに「いつも購入しているトイレtpペーパーをオンラインで注文しましょうか?」と AI スピーカが手助けしてくれれば, それは便利でしょう. しかし, これはユーザのひとりごとをシステムがすべて聞いているということにもなります. もし, あなたが宝くじに当たったことを AI スピーカが聞いていて, それを誰かに伝えてしまったらどうなってしまおうでしょうか. クレジットカードの番号は? 口座の暗証番号は? 盗み聞きされて困る話を AI スピーカの近くでしてしまったことはありませんか?

また, 怖いのは盗み聞きだけではありません. システムがユーザと対話する際に, ユーザに名前を教えてくださいとか, 誕生日はいつですかとか聞いたりすることは一見ごく自然です. しかし, ペットは飼ったことありますか? ペットの名前は? 親の旧姓は? あなたが通った小学校の名前は? 好きな食べ物は何? などなど……と聞いてきたときは, 注意が必要です. 心ない人によって作られた対話システムが, あなたの個人情報を聞き出して, パソコンの管理者権限を盗んだり, 勝手に Amazon やパソコンのアカウントを不正利用して, あなたのクレジットカードで買い物をしたりしようとしているかも?